

楽都・仙台。国際的なコンクールや音楽祭の開催の傍らで、国際的な音楽家を養成する講座は、これまで単独での開催はあったものの、集中的に、かつ、開かれた形で行われる機会が多くありませんでした。この講習会では、「ピアノを学ぶ」中学生から、本格的に演奏家を志し、留学を考える若い演奏家たちに、音楽的・技術的指導はもちろんのこと、アンサンブル力、作品に関する多角的な理解を深める充実したカリキュラムを予定しています。そしてそのフォーラム初日オープニングを飾るのは、講師たちによる素晴らしいガラ・コンサートなのです。

## 菅野 潤 Jun KANNO

桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業。この間、三浦浩、御木本澄子、高良芳枝、安川加壽子の各氏に師事。フランス政府給費留学生として、パリ国立高等音楽院に留学、ピアノをイヴォンヌ・ロリオ、室内楽をモーリス・クリュットの各氏に師事し、ピアノ科、室内楽科を、それぞれ一等賞を得て卒業。パリ・エコール・ノルマル音楽院に在籍し、審査員全員一致で演奏家資格を得る。ヴィオッティ、パリ国際室内楽他の国際コンクールに上位入賞、現在、パリを拠点とし、内外で演奏活動を行っている。これまでに、リサイタルの他、協奏曲のソリストとしても活躍。室内楽の分野では、ウィーン弦楽四重奏団、ザルツブルク・モーツァルテウム四重奏団、またピエール・アモイヤル、ヴェルナー・ヒンク、ブルーノ・バスキエの各氏らと、欧州各国及び日本で定期的に共演している。元バルセロナ・カレロ音楽院教授。ドイツ、フランス、ベルギー、イタリア、スペイン、ポルトガル、米国、韓国及び日本国内でも、公開講座、夏期講習の指導を行うほか数々の国際コンクールの審査員として招聘されている。全日本ピアノ指導者協会正会員。

## ブルーノ・カニーノ Bruno CANINO

1935年ナポリ生まれ。ナポリ音楽院でヴィンチェンツォ・ヴィターレにピアノを師事。ミラノのヴェルディ音楽院でピアノと作曲を学ぶ。サルヴァトーレ・アッカルド、リン・ハレル、イツァーク・パールマン、ウート・ウーギ、ヴィクトリア・ムローヴァ、ピエール・アモイヤルなどと共演。さらに、アントニオ・パッリスタとのピアノ・デュオでも活躍。また、アバド、ムーティ、サヴァリッシュ、ブーレーズ、シャイー、アッカルドの指揮のもと、イギリス室内管弦楽団、ニューヨーク・フィルハーモニック、フランス国立管弦楽団、サンタ・チェチーリア管弦楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、スカラ・フィルハーモニー管弦楽団、アンサンブル金沢等のオーケストラと共演している。最近の録音にはバッハ「ゴルトベルク変奏曲（エルミタージュ CD 412）」、ヒンデミット「4つの気質（Novalis CD 150）」及びカゼッラ「ピアノ作品全集（ストラディヴァリウス CD 33350）」がある。1999年2月から2002年まではヴェネツィア・ビエンナーレの音楽監督を務めた。ピアノと室内楽のマスタークラスをイタリア、ドイツ、スペイン、日本、スイスなどで開催し、現在はフィエーゾレ音楽院で教鞭をとっている。ブゾーニ、ハスキル、ゲーザ・アンダ、ロンドン、メニューイン、サンタンデル、ミュンヘンARD、カサグランデ、フランツ・シューベルト&近代音楽国際コンクール、仙台国際音楽コンクールなど、多数の国際コンクールに審査委員として参加。

著書として『室内楽ピアニスト便覧』をフィレンツェのバッシリ社から出版。

## ヴィレム・ブロンズ Willem BRONS

オランダ出身の名ピアニストで、その内面的な表現の深さは比類がない。アムステルダムで、カレル・ヒルサムにピアノを、ピート・ケイにオルガンを師事。その後、ジュネーヴ音楽院で、ルイ・ヒルトブランに師事。ジュネーヴ音楽院演奏家クラスを満場一致の一等特賞を得て卒業、同時にパデフスキー記念フィリベネッティ賞を受ける。ハイティンク指揮コンサートヘボウ管弦楽団との協奏等、国際的なキャリアを深める。バロックからロマン派にかけての広いレパートリーを擁し、ピアノ・フォルテにも興味を持ち、ジョス・ファン・インマゼールがアントワープで主宰している「アントワープピアノ」音楽祭にも招かれ出演している。また、オイゼビウス・クリングを主催し、リサイタル、室内楽の演奏会にも精力的な活動を行っている。アムステルダム音楽院教授。オランダピアノ教育者連盟の会長は2004年まで13年間務めた。1995年以来、毎夏アムステルダムでマスタークラスが開催されている。2001年はモスクワ市内の2校の音楽院から招かれ、2001年2007年には仙台国際コンクールの審査員としても来日。2003年4月オランダ女王より勲章を授与された。2005年秋モーツァルトのプロジェクトを開催。1982年初来日。これまでに、コンサートの他、日本各地の音大にて公開レッスンやレクチャーを行う。1997年日本クラウンよりシューベルトのアルバムが発売された。2006年モーツァルトのアルバムもリリース。現在アムステルダム音楽院教授。

## 庄司 美知子 Michiko SHOJI

桐朋学園大学音楽学部ピアノ科を卒業。ピアノを三浦浩、江戸弘子の各氏に師事。チェンバロを中川旬氏に、室内楽をゲルハルト・ポッセ氏、ロマン・オルトナー氏に師事。仙台フィルハーモニー管弦楽団、チェコ六重奏団、東京ゾリステンなど、多くの演奏家と共演。バッハの鍵盤音楽、協奏曲シリーズ、モーツァルトの室内楽シリーズなど、室内楽や伴奏、リサイタルなど幅広く演奏活動を行う。ピアノ教育にも意欲的に携わり後進の指導にあたっており、公開レッスン、公開講座の講師を務める。2000年よりスペイン、ベルギー、プラハ、ウィーン、クロアチア等ヨーロッパ、米国、韓国など各地の音楽祭の講師、審査員として招聘を受けている。全日本ピアノ指導者協会正会員、仙台国際音楽コンクール企画推進委員などを務めるほか、2011年の東日本大震災以降、被災地へピアノをとどける会の委員長として活動し、512台（2018年2月現在）のピアノを被災地へ届けている。仙台中央音楽センター主宰。

ピアノフォーラム in 仙台 講習会 2018年9月15日(土)～17日(月・祝)

聴講生募集中 聴講料：1日券：2,000円/通し券：5,000円

会場・お問合せ：仙台中央音楽センター

980-0021 仙台市青葉区中央4-4-4 TEL：022-264-1846 FAX：022-398-6623

E-mail：info@scmct.com 仙台中央音楽センターで検索

